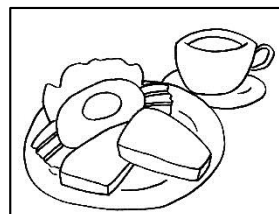


手描きイラストのメニュー

手書きのメニューって、きれいな写真入りメニューとは違った味わいがあります。でも、色塗りでちょっと失敗しちゃったら、やりなおし。値段などが変わったら、作り直し。手直ししにくいのが、弱点。手描きとワードを組み合わせ、**「いいとこ取り」**のメニューを作ってみましょう。

①コピー用紙に、サインペンで料理のイラストを描いてみましょう。描いたイラストをスキャナで読み込み、画像ファイル化します。

めんどろな場合は、添付の「dish.png」を使ってください。



②ワードの新規文書を開き、①の画像を挿入します。

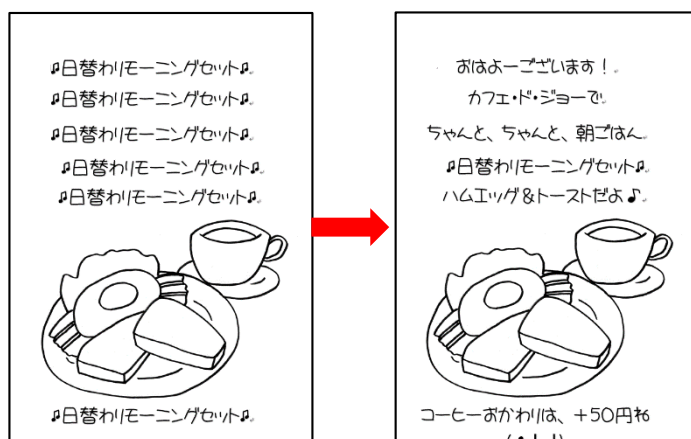
③横書きテキストボックスを挿入し、掲載したい言葉を入力します。テキストボックスの枠線・塗りつぶしは「なし」に設定します。フォントサイズは後で見直すので、適当な大きさに **OK**。フォントの種類は、手書きフォントがオススメ。

（作品例は、「うにフォント」を使っています。お好みの手書きフォントを、探してみよう。）



④③を5～6個コピーして、言葉を書き換えます。

（♥や♪などの記号は、「はーと」「おんぷ」で変換すると、入力しやすい。）



※オブジェクトのコピー

コマンド法＝テキストボックスの境界をクリックして選択してコピー→貼り付け。

ドラッグ法＝Ctrl キーを押しながら、テキストボックスの境界をドラッグ。

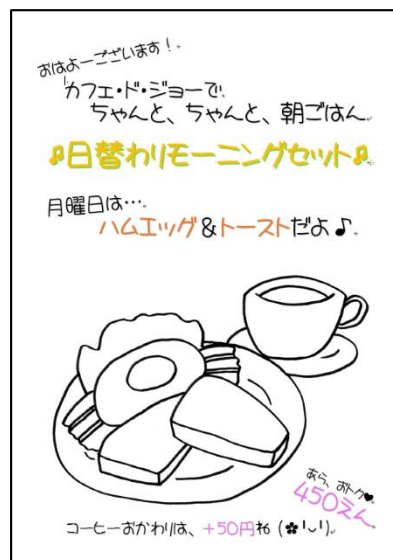
慣れてきたら、ドラッグ法も使ってみよう。

Word196

⑤全体のデザインを考えながら、各テキストボックスを配置します。フォントサイズは、適宜変更してください。また、回転、フォントの色なども使ってみましょう。

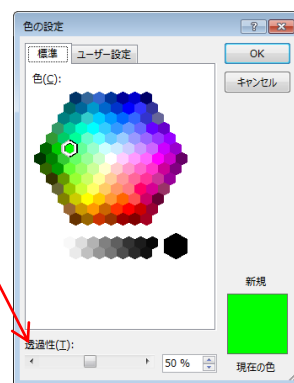
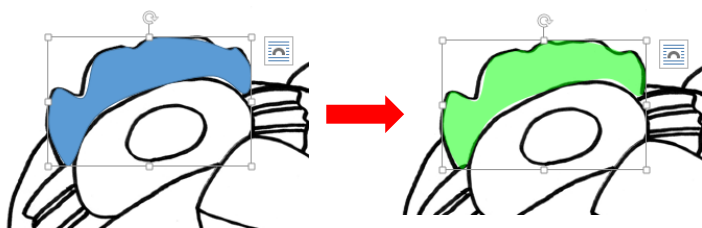
（作品例のタイトルは、フォントの色はオレンジ、影は黄緑に設定しています。）

※「表示」タブ→「1 ページ」で、ページ全体を見えるようにすると、配置しやすくなります。

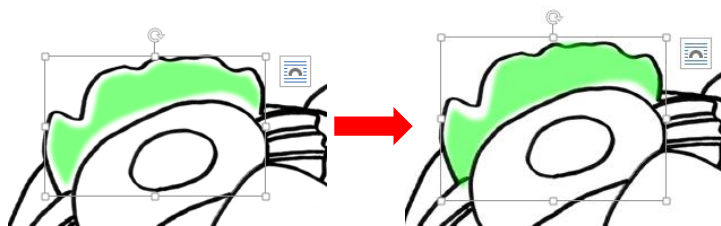


⑥色塗り作業に、入ります。

「挿入」タブ→「図形」→「曲線」で、レタスの部分に閉じた図形を描きます。枠線はなし、塗りつぶし色を指定します。イラストの線を生かすため、塗りつぶしの透過性を 30～60% に設定します。



⑦⑥の図形を、「図形の効果」→「ぼかし」で、数 pt のぼかしを設定します。塗りつぶし領域が小さくなったら、少し拡大・移動するなどして調整しましょう。



⑧他の部分も同様にして、お好みの色で塗っていきます。

⑨余裕があったら、最背面に「雲」図形を入れて「ぼかし」でみましょう。

⑩余裕があったら、タイトルなどにアンダーラインを入れてみましょう。アンダーラインは、「曲線」図形を使ったほうが手描きっぽくなります。

おはよーございます！

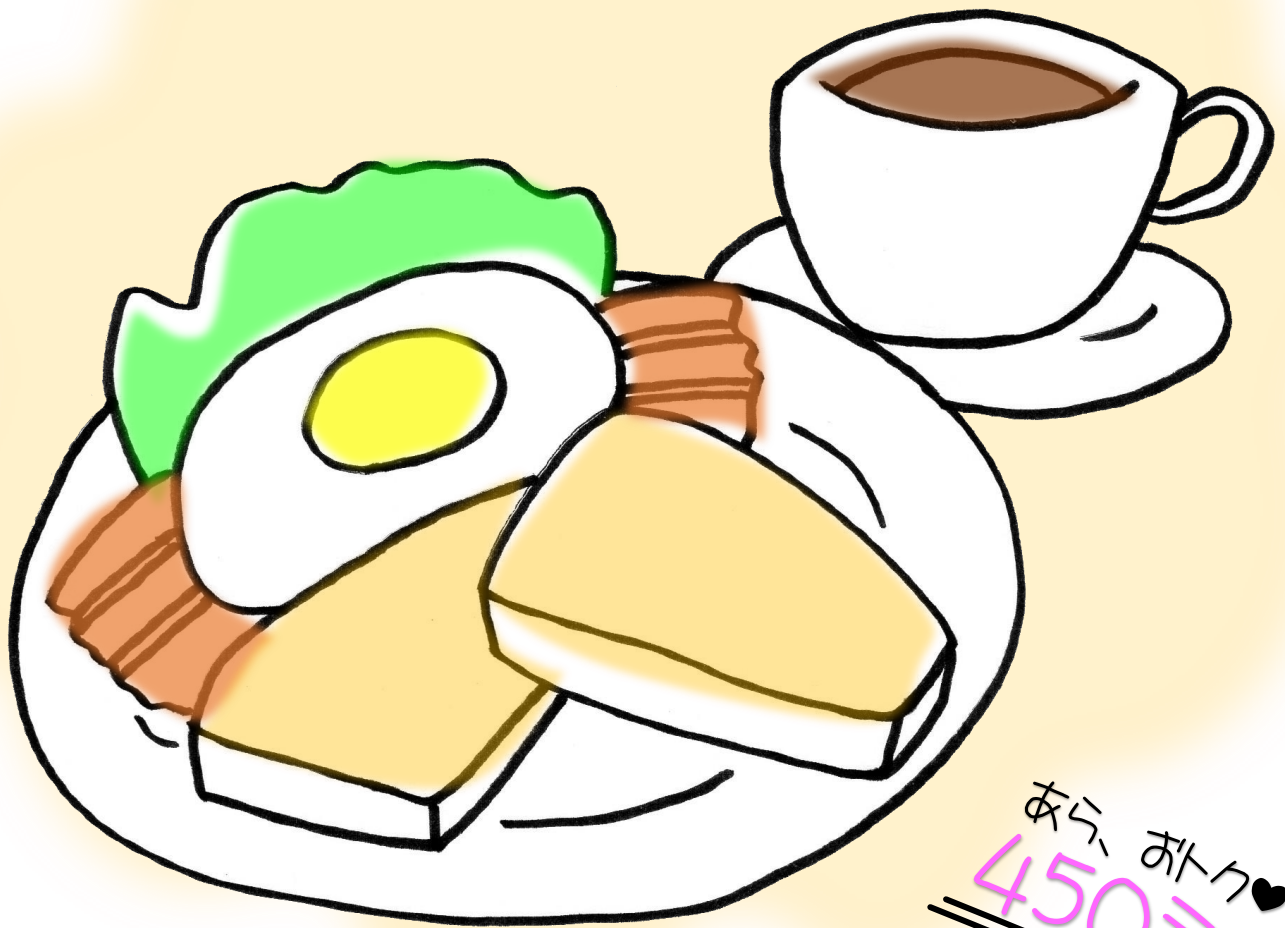
カフェ・ド・ジョーで

ちゃんと、ちゃんと、朝ごはん

♪日替わりモーニングセット♪

月曜日は…

ハムエッグ&トーストだよ♪



あら、おトク♡
450円

コーヒーおかわりは、+50円税 (❀！！)